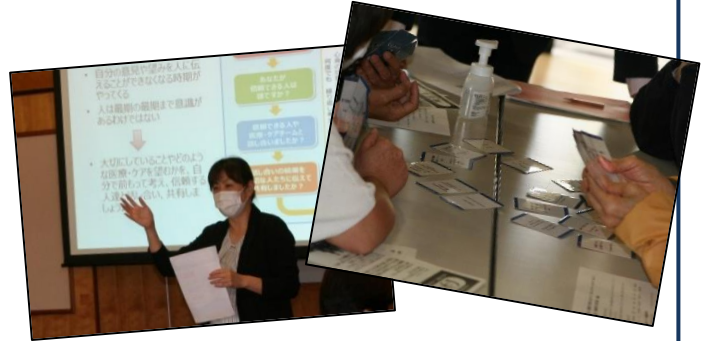




# 海からの贈りもの

## 図書館で元気になろう①「もしバナゲームをやってみよう」を開催しました！！

日赤病院の看護師さんを講師に、講座を開催しました！「もしバナゲーム」というカードを使い、ふだん生きていく上で自分が何を大切にしているのかを振り返りました。「自分が大切にしていることは日々変わる。常に家族や友人と共有しておくことが大切」という講師の方の言葉が印象的でした。次回は、1月17日（日）「新春落語」です☆お楽しみに☆



## たらみ図書館 アートフェスティバル 2020

### ■子どもたちによる壁面アートなど作品展示

期間 | 12月5日（土）～1月24日（日）

時間 | 9:00～22:00

ところ | 展示回廊・フリースペース

入場  
無料

### ■ジャズコンサート

長崎大学軽音楽部 Swing Boat

JazzOrchestra によるコンサート

日にち | 12月12日（土）

時間 | 14:30～ ところ | 海のホール

申込 | カウンターまたは電話

定員 | 100名

## 年末年始の休館日のお知らせ

**12月28日（月）～1月4日（月）**

本・雑誌は、本のポストをご利用いただけます。視聴覚資料は破損しやすいので、1月5日（火）以降に、カウンターへの返却をお願いします。

※集会展示エリアもお休みです

## 本の福袋 2021

1月9日（土）～なくなり次第終了

図書館員が選んだ5冊の本が入った福袋を用意しています。お好きなテーマを選んでカウンターにお持ちください。

※読み終わった本は、図書館へ返却をお願いします。

## 「Smile hope café」(スマイルホープカフェ)

12月2日（水）・16日（水）

時間 | 10:30～14:00

ところ | 調理談話室



入場  
無料

希望が丘特別支援学校 食品加工・接客コースの生徒さんが授業の一環として行う、図書館カフェです。

カレンダー

【開館時間】

火～木・土・日 / 10:00～18:00

金 / 12:00～20:00

【休館日】

月曜日・第3木曜日

# 12月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

ご寄贈ありがとうございました！  
森 勇也 様、久松 重子 様



順位	書名	著者	出版社	予約数
1	流浪の月	凧良 ゆう／著	東京創元社	89
2	クスノキの番人	東野 圭吾／著	実業之日本社	73
3	ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー	ブレイディ みかこ／著	新潮社	51
4	半沢直樹 アルルカンと道化師	池井戸 潤／著	講談社	43
5	少年と犬	馳 星周／著	文藝春秋	42

## 新着本

## 小説 / エッセイ

もしかしてひょっとして	大崎 梢／著	光文社
作家の贅沢すぎる時間	伊集院 静／著	双葉社

## ビジネス / 社会

いまはそれアウトです!	菊間 千乃／著	アスコム
すぐよくわかる絵解き広報	山見 博康／著	同友館

## 暮らし

使い勝手のいい、エプロンと小物	加藤 容子／著	ブティック社
多肉植物の水栽培	米原 政一／著	日本文芸社

## その他

あしたの南極学	神沼 克伊／著	青土社
祝!結婚した	花井 達／著	赤々舎

## 図書館員のおすすめ本 『戦争と郵便～戦後75年・手紙が語る戦争の記憶～』

切手の博物館 郵趣サービス社(発売) 2020.7 分類 693.2/セ



戦時中、戦地と故郷を結ぶ唯一の手段が軍事郵便。見知らぬ外地で受け取る手紙は何よりも心の慰めになったことでしょう。その始まりは日清戦争からで、太平洋戦争が終戦するまで戦地から内地、戦地から戦地へは無料。内地から戦地へは国内料金で差し出す事が出来たそうです。

本書は戦時中に軍事郵便として使われた官製はがきや私製はがきの種類、俘虜郵便や慰問、別れの手紙、野戦郵便局の消印や風景印、記念印などを豊富な写真と当時の新聞や地図などと共にオールカラーで紹介。戦禍を生き延びた人々のリアルな姿を、手紙を通して垣間見る事ができます。戦後75年、手紙が語る戦争の記憶を是非手に取ってご覧ください。

